

飲食業の
皆様へ

グリスカット

グリストラップ清掃

グリストラップ槽の日常清掃は行なっておりますか?

編みかごの中の残渣物を片づけてお掃除。そして浮遊している油をこのような即効性のある吸着マットでグリスカットすると良いですよ!!



グリスカットに油が吸着しましたら、きつちり水はきってくださいね!



水を切つたら古新聞紙などにくるんでください。弊社でも対応可能な事業系一般廃棄物の可燃ごみとして回収対応が出来ます。

日常清掃をして頂きながら、業者によるグリストラップ清掃を最低年2回は行なっていただく事をお勧めいたします。



グリスカット用の吸着マットも販売しております!



グリストラップ清掃もご用命ください

「クリンだよりを見た」とお問合せください

床下点検・シロアリ防除は 株式会社 アイジーコンサルティングへ

その羽アリ、
シロアリかも
しれません。



0120-37-6451 「クリンだよりを見た」とお問い合わせください。

高耐久 骨太・檜の家

日本ハウスHD

旧社名 東日本ハウス株式会社

①ご家族皆様

健康に住まわれたい方

②30年、40年経っても

安心出来る家に住みたい方

③自然の力で、夏涼しく

冬暖かい家に住みたい方

新築・建替え・土地探し・リフォームお任せください。

「クリンだよりを見た」とお問い合わせ下さい

電話番号: 053-463-9777

創業50年「東日本ハウス」は
「日本ハウスホールディングスへ」



廃棄物処理法はどう変わったか!

産業廃棄物に該当する木くずの範囲

廃棄物処理法制定時(昭和45年)には、産業廃棄物に該当する「木くず」は、木製品製造業や材質業、パルプ製造業等から排出されるものに限定されていました。10年後の昭和55年になって、建物解体工事から排出される木くずが産業廃棄物に該当する改正が行われました。現在では考えられませんが、それまでは一般廃棄物の扱いだったのです。当時、大量の解体木くずが発生した際、処理主体である市町村が受け入れ可能だったとは考え難く、この改正は、むしろ法律を実態に合わせたという意味が強かったです。それでもまだ、新築・改築現場から排出される木質系廃棄物は、一般廃棄物のままでしたが、多方面からの指摘・要望があり、国もやっとこの矛盾解消に動きました。

平成10年5月7日、厚生省部長通知 生衛発第780号
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部改正について(通知)

第14の1 工作物の新築・改築又は除去に伴って生じた建設業に係る紙くず及び繊維くず並びに工作物の新築又は改築に伴って生じた建設業に係る木くずは、従来、一般廃棄物として取り扱われてきたところであるが、これらの廃棄物は産業廃棄物と混合して排出されることが多く、その取扱いについて現場において混乱を生じていたことから、このたび産業廃棄物とすることとした。

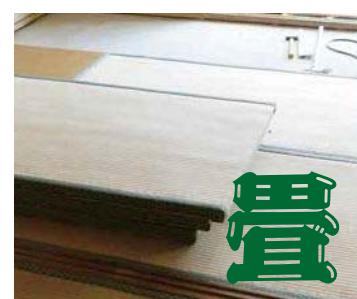


この改正により、建設工事に伴い発生する木質系廃棄物は、全てが産業廃棄物「木くず」として取り扱うこととなりました。さらに、平成20年4月からは、それまで一般廃棄物であった「木製パレット」や「梱包用木材」が産業廃棄物に該当することとなりました。ここで、特筆されることは、「木くず」については、対象業種が建設業や木製品製造業等の木を取り扱うものに限定されていたところ、パレットについては、非製造業を含めての業種が対象となつたことです。この点については、まだ周知が行き届いていない点もありますので、今一度ご確認ください。

このように、「木くず」に関する取扱いの変遷は、一般廃棄物該当物を順次、産業廃棄物に変更してきたことにより、その背景として

一般廃棄物該当物の全てを市町村が受け取ってくれないというところから出発しています。産業構造の変化がありますので、直接的な比較はできませんが、現在では全国で発生する木くずの約80%以上が建設業から排出されていることを考えると、法制定当時の法制担当者は、排出実態をどのように把握していたのだろうかという疑問が湧いてきます。

最後に、木くずの範囲変更は、一段落と考えますが、市町村が処理できないものは産業廃棄物だという誤った考え方方が市町村職員の間に、まかり通っています。こうした部分については、環境省が主催する審議会の中でも指摘をされていますので、今後の法改正に注目していきたいと思います。



置

畳の処分はお任せください!
積込みから運搬、処分まで一貫対応!

弊社工場へお持ち込みいただく場合は
本量・スタイロ畳 ▶▶▶ 受入価格1,000円/枚

※武道場スポーツ施設から排出される廃畳(塙ビ使用品)は別途料金となります。

※腐り、汚れ、水濡れ等は別途料金となります。

※産業廃棄物収集運搬処分の委託契約書の締結が必要となります。

※引き取りの場合は別途収集運搬料金が発生します。

懐かしい味
布橋みやひろ

醤油味の濃いスープに縮れ麺。布橋みやひろは、飾りつけなしの昭和の味、懐かしい味、ほっこりする味を貫いている浜松の老舗中華そば店だ。追分小に通つた俺にとって、家の近所のみやひろの中華そばほど郷愁をさうものはない。布橋みやひろの人気メニューはチャーシュー麺だが、俺はあえて五目中華そばを選んでしまう。チャーシュー数枚と、にんじん、メンマ、ゆでたまご、キャベツ、小松菜、かまぼこ、甘く煮たシイタケ、そしてノリとネギ。父親が用事でない日曜日の昼などに、お袋と俺と妹の3人で、みやひろに来るのが楽しみだった。お袋は中華そばを、そして俺と妹にはこの五目中華そばを食べさせてくれた。小学校を卒業し、中学・高校時代は友人と行った。そして社会に出てからは一人で行く機会も増えた。まるで俺にとっては母親の手料理のような中華そば。今でも無性に食べたくなる。